

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月26日

【評価実施概要】

事業所番号	0870200862		
法人名	医療法人 祥仁会		
事業所名	グループホーム ハーモニー		
所在地	茨城県日立市十王町伊師3458-1 (電話) 0294-20-6822		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成20年10月14日	評価確定日	平成21年1月23日

【情報提供票より】 (平成20年9月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	10人, 非常勤 5人, 常勤換算 7人

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨	造り
	2階建ての	1～2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(100,000円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		900 円	

(4) 利用者の概要(平成20年9月15日現在)

利用者人数	12名	男性	5名	女性	7名
要介護1	2	要介護2	3		
要介護3	3	要介護4	1		
要介護5	1	要支援2	2		
年齢	平均 81.5 歳	最低	70 歳	最高	87 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	十王ひがし野クリニック	鈴木歯科
---------	-------------	------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは運営母体のクリニックに隣接し、自宅での生活や通院が困難になった透析中の患者さんやその家族からの要望で開設し、利用者全員が透析治療を受けている。
クリニックから身体の状態に配慮した食事の提供があり、看護師の職員配置により利用者や家族が安心して生活できる環境にある。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 意見箱の設置やホームの夏祭りに地域の人々に参加を呼びかけるなど改善もみられるが、意見や苦情の相談窓口である第三者機関の明記、運営推進会議の委員の拡充、ボランティアの積極的な受け入れについては改善には至っていない。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 運営者や管理者は外部評価や自己評価の意義を理解し改善に取り組んでいるが、全職員が理解するまでには至っていないので、全職員で自己評価に取り組むとともに、日々のケアの振り返りや気づきを活かしサービスの質の向上に努めることを期待する。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、利用者の状況や事業所の報告をしている。 会議で出た意見や情報を活かし、サービスの質の向上に努めている。 会議の開催にあたっては、委員の選出や開催日時等に工夫をこらし、効果的な運営を図ることが望まれる。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 重要事項説明書に苦情相談窓口担当者を明記し説明しているが、事業所以外の第三者機関も明記することが望まれる。 苦情箱を設置しているが投稿はない。 直接意見等を伝えられた場合は迅速に対応している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホームの夏祭りに地域の方々に参加を呼びかけたが、積極的に交流するまでには至っていない。 夏祭り以外にボランティアや中・高校生の職場体験などを積極的に受け入れ、地域の人々と交流できるよう取り組むことが望まれる。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「利用者の立場に立ち安心と尊厳のある生活を営むことができるように支援します」との理念を掲げている。	○	理念の掲示方法に工夫が望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全職員で理念を理解し、共有するまでには至っていない。	○	職員会議等で理念を話し合い、全職員で共有するとともにケアの実践に取り組むことが望まれる。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームの夏祭りに地域の人々に参加を呼びかけたが、積極的に交流するまでには至っていない。	○	夏祭り以外にボランティアや中・高校生の職場体験などを積極的に受け入れ、地域の人々と交流できるよう取り組むことが望まれる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者や管理者は外部評価や自己評価の意義を理解し改善に取り組んでいるが、全職員が理解するまでには至っていない。	○	全職員で自己評価に取り組むとともに、日々のケアの振り返りや気づきを活かしサービスの質の向上に努めることを期待する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、利用者の状況や事業所の報告をしている。 会議で出た意見や情報を活かし、サービスの質の向上に努めている。	○	運営推進会議の開催にあたっては、委員の選出や開催日時等に工夫をこらし、効果的な運営を図ることが望まれる。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者と積極的に連携を図るまでには至っていない。	○	市担当者と密に連絡を取り合い、情報交換するなどの工夫が望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回必ず家族に面会してもらうよう配慮し、利用者の日頃の様子や行事案内をしている。 金銭管理は家族がしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に苦情相談窓口担当者を明記し説明している。 苦情箱を設置しているが投稿はない。 直接意見等を伝えられた場合は迅速に対応している。	○	事業所以外の第三者機関も明記することが望まれる。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は必要最小限に抑え、余裕をもって引継ぎを行うことで利用者へのダメージが少なくなるよう配慮している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の外部研修受講の情報提供や研修報告書を作成しているが、段階に応じた研修計画を作成するまでには至っていない。	○	職員の保有資格を内部研修に有効に活用することを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内の同業者懇談会等に参加しているが、交流するまでには至っていない。	○	同業者と交流に努め、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問などの活動を通じてサービスの質の向上に活かすことが望まれる。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者は設置法人が運営するクリニックに通院していた透析患者であるため、利用前からホームを見学したりして他の利用者や職員と顔馴染みであり、スムーズに利用を開始している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員が落ち込んだ時に人生の先輩である利用者に励まされたり、農作物の収穫時期を教えられたりと日々一緒に過ごしながら支え合う関係を築いている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりの生活歴や意向を把握し、利用者の希望にそった過ごし方ができるよう支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	併設クリニックの看護職員と連絡を密にとり現状を把握するとともに、利用者や家族、必要な関係者と話し合い介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は6ヶ月の見直し期間を定めているが、状態に変化が生じた場合は利用者や家族、必要な関係者と話し合い、状態に即した介護計画に見直している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	透析に通院する患者がホーム利用を必要になった場合は、利用者や家族の要望などを話し合い納得したうえで利用を開始している。その際は、診療情報など必要な書類がホームに提供される仕組みになっている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設のクリニックへ週3回送迎するほか、利用者や家族の希望にそって他の医療機関にも通院支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向け指針を作成するとともに家族の承認を得ている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを大切にした支援をするとともに、個人情報の取り扱いも家族の同意を得るなど配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者は週3回透析を受けているため、体調に配慮しながら一人ひとりのペースを大切にされた過ごし方を支援している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者全員が塩分制限の食事であるため、クリニックの厨房から届けられた食事を摂っている。 時には利用者の希望にそって外食をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	透析を受けているため1日おきに入浴しているが、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の後片付けや趣味の習字など利用者のできることを見守りながら支援している。 運営推進会議に参加して発言する利用者もいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム敷地内の散歩や院内の保育園児との交流、季節の花見など戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関は安全に考慮して施錠しているが、クリニックへの通路は自由に出入りできる。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を実施しているが、非常食の備蓄や夜間を設定した避難訓練、地域の人々に働きかけ協力を得るまでには至っていない。	○	夜間を設定した避難訓練や災害時の非常食の備蓄が望まれる。 地域の人々の協力を得る働きかけについては、運営推進会議の議題にし検討することが望まれる。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事や水分の摂取量を把握し、制限値や体調に配慮した支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	窓からの景色は季節感があるが、室内は幼稚園のような飾りつけで季節を感じるものが少なく落ち着いた雰囲気にはなっていない。 湿度計や温度計がなく室温はエアコンの設定温度に頼っている。	○	落ち着いた雰囲気や季節が感じられるよう室内の飾りつけに配慮するとともに、湿度計や温度計の設置が望まれる。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者一人ひとりに配慮した居室であり、使い慣れた生活用品を持ち込み居心地よく過ごせるよう工夫をしている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。